



①



②



③

①「カムカムエヴリバディ」の主な撮影場所となった京都東映太秦映画村

②インタビュー終了後、雑談の中で今後の取り組みに話が及んだことから、アイデアが思い浮かびメモを取る堀之内さん。類いまれなるアイデアマンぶりにも驚かされました

③ 2012年にはアメリカ・ロサンゼルスに渡りハリウッドのプロデュース術を学んだ堀之内さん。写真はカリフォルニア大学 UCLA 構内での当時の様子

「ひなたの道を歩き続けよう」

辛いことに押しつぶされそうな時、日陰に入りたくなる時もある。だけど、頑張っ^てひなたの道を歩き続けよう。そしたらきっと、自分自身が輝くから。自分の中に太陽が生まれるから。決して自分の人生を諦めず、顔を上げて前を向いて進んでいこう。－堀之内礼二郎－

人の風景

Smiling faces of miyakonojo

※堀之内さんの背後には、「カムカムエヴリバディ」の劇中劇である「^{なつめきびのじょう} 素戔之丞 妖術七変化 隠れ里の決闘」の看板を設置しています

NHK大阪放送局 制作部（ドラマ）
連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」

ほりのうち れいじろう
制作統括 堀之内 礼二郎さん
（都城市出身）

NHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」は、3人のヒロインが織りなす100年にわたる家族の物語です。本年4月の放送終了後には「カムカムロス」という言葉が広がるなど、幅広い世代に人気を博した本ドラマ。制作統括として辣腕を振るったのは、本市出身の堀之内礼二郎さんです。

幼少期から好奇心旺盛で、家族に「張り切り礼二郎」と呼ばれていた堀之内さん。その才能をNHKで如何なく発揮し、朝ドラ「ゲゲ

ゲの女房」「梅ちゃん先生」「べっぴんさん」「まんぶく」、大河ドラマ「天地人」「花燃ゆ」、土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」などの制作に携わってきました。

最新作が朝ドラ「カムカムエヴリバディ」。脚本家の藤本有紀さんや演出家の安達もじりさんなど、かけがえのない仲間らと本ドラマを作り上げました。「ドラマ本編のみならず、周りに温かく広がるものも含めてドラマ」と語る堀之内さん。「視聴者やSNSなどで楽

しんでくれた全ての人がつくった作品」と感謝を表します。

戦争の悲惨さも避けることなく描いた本ドラマ。若い世代からは、身近な戦争体験者から直接話を聴くきっかけになったとの声もあり、「100年前の先人たちの営みが積み重なって、自分たちの今がある」という堀之内さんら制作陣の思いが伝わったといえるでしょう。さらに、「自分の今は、100年先にもつながっていく。だからこそ、今という時間はとても貴重で前を向

いて頑張っ^てほしい」とエールの言葉を紡ぎます。

「チームで取り組むドラマづくりの現場が何よりも好き」と話す堀之内さん。取材では笑顔を絶やさず、和やかな雰囲気をつくってくれました。明るく楽天的な性格は、「ふるさと都城で形成された」と語ります。これはリーダーに必要な資質の一つで、強いだけでなく「隙のある人」だと周囲に感じてもらふことで、何でも言い合えるチームをつくり上げています。

本ドラマの「ひなたの道を歩き続けよう」というメッセージを力強くも温かく感じたのは、他ならぬ堀之内さんの存在あってこそなのかも知れません。

ドラマづくりに軸を置きながらも「新しいことにチャレンジしたい」と力を込める堀之内さん。都城をふるさとに持つ人が、全国に元気や勇気を与えているという誇りを胸に、私たちも「ひなたの道を歩き続ける」気持ちを心に留めおきたいものです。